

石橋文化センター アートプロジェクト2023

小学生 詩のワークショップ参加者募集

ことばと ことばを つなげて 詩をつくろう

石橋文化センター内を散歩して まわりを「観察」して 感じた「ことば」をつなげて「詩」をつくります。

できた「詩」は 秋のアートプロジェクトで 「かたち」(インスタレーション) となって展示されます。

自分の「ことば」に また会いに来てください。

講師：夏野雨(詩人) / 野島智司(ネイチャーライター) / 中川たくま(デザイナー)

募集：小学3～6年生 各回10名(先着順)

日時：① 8/2(水) 9:30-12:00 ② 8/2(水) 13:30-16:00

③ 8/3(木) 9:30-12:00 ④ 8/3(木) 13:30-16:00

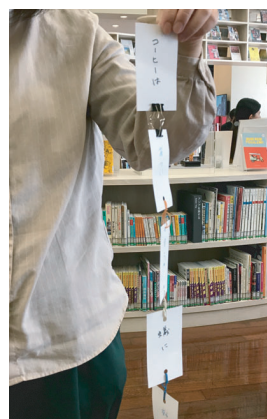
* ①～④は同じ内容

申込方法：氏名、学校名、学年、郵便番号、住所、保護者氏名、電話番号、希望の回(①～④)を
電話(0942-33-2271)・FAX(0942-39-7837)・
メール(art@ishibashi-bunka.jp)で

参加費：無料

問合せ先：0942-33-2271(石橋文化センター)

コンセプトイメージ



参加者一人ひとりが
紡いだ言葉がつながることで、
詩が生まれます。

夏野雨（詩人） 詩集「明け方の狙撃手」（2018年・思潮社）で福岡市文学賞・福岡県詩人賞受賞。「じゃんけんをしながら渡る歩道橋 がいちばん好きだ」（2022年・私家版）で第73回 H 氏賞候補。ポエトリーフェス「福岡ポエイチ」主宰（2012-2017年）。電子書籍出版レーベル「惑星と口笛ブックス」によるエッセイアンソロジー「コドモクロニクル」等に参加。合唱譜「くまのはなし」作詩（2021年・カワイ出版）

野島智司（ネイチャーライター） 作家、かたつむり見習い。NPO法人産の森学舎(フリースクール)で、授業「しぜん」を小学部と 中学部で担当。筑紫女学園大学非常勤講師(生涯学習概論)。著書に『マイマイ計画ブック かたつむり生活入門』（2015年）、『カタツムリの謎』誠文堂新光社（2015.6）、『ヒトの見ている世界 蝶の見ている世界』青春出版社（2012.2）

中川たくま（プランニングディレクター） ブルームーンデザイン事務所代表。様々な領域や分野を横断しながらコンセプトプランニングと、より良い環境・関係づくりのためのコミュニケーション・デザインを手がけている。「星野道夫の旅（2017年）」、「ウィリアム・モリスと英国の壁紙展（2018年）」、「アーツ&クラフツとデザイン（2023年）」など久留米市美術館の企画展のデザインを担当